



# @Tovas for Salesforce ユーザーガイド (FAX)

Ver.1.3

## 改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2021/03/18	新規作成
1.1	2021/04/26	CSV 連携に関する説明を追記
1.2	2021/06/14	「4. FAX 履歴」にステータス更新を行う履歴の日数制限を追記 「5. バックグラウンド処理」にスケジューラ登録を行うユーザーに必要な権限・パッケージライセンスについての説明を追記
1.3	2023/04/25	「ソアスク@」を「@Tovas for Salesforce」に変更

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。  
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

## 本書の使い方

---

本資料では、@Tovas for Salesforce で FAX 機能をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

尚、本書ではオプロが提供する D3Worker の知識を前提として説明を進めます。

## 本書の表記

---

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
<b>注意</b>	操作上の注意事項について記載しています。
<b>Point</b>	操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。
[ ]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使います。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使います。

# 目次

<b>1. セットアップ手順</b> .....	<b>6</b>
1.1 @Tovas for Salesforce とは.....	6
1.2 拡張パッケージ「@Tovas for Salesforce」のインストール.....	7
1.3 各種設定 (Salesforce) .....	8
1.3.1 認証情報登録画面を開く.....	8
1.3.2 管理者ライセンスを登録する.....	9
1.3.3 一般ユーザライセンス(FAX 送信を実行するユーザライセンス)を登録する.....	11
1.3.4 D3Worker ユーザライセンスを登録する.....	13
1.3.5 バックグラウンド処理の設定.....	14
1.3.6 カスタム設定「Docutize Statics Setting」の項目値を設定.....	15
1.4 各種設定 (D3Worker) .....	17
1.4.1 ワーク・エンベロープ・サービスの雛形をインポート.....	17
1.4.2 インポートしたサービスの設定編集.....	18
<b>2. FAX(Salesforce 連携)</b> .....	<b>20</b>
2.1 レコード作成.....	20
2.1.1 新規 FAX 設定.....	20
2.1.2 詳細設定.....	25
2.2 自動ジョブ登録: 有効.....	28
2.3 自動ジョブ登録: 無効.....	31
2.3.1 詳細ページから出力する場合.....	31
2.3.2 リストページから出力する場合.....	34
2.3.3 ボタン設置後の注意点.....	37
<b>3. FAX(CSV 連携)</b> .....	<b>40</b>
3.1 レコード作成.....	40
3.2 自動ジョブ登録.....	45
3.2.1 「有効」を選択した場合.....	46
3.2.2 「無効」を選択した場合.....	47
<b>4. FAX 履歴</b> .....	<b>48</b>
4.1 FAX 履歴レコード.....	48
4.2 @Tovas 履歴レコード.....	50

<b>5. バックグラウンド処理</b> .....	<b>52</b>
5.1 スケジューラ登録 .....	52
5.2 バックグラウンド処理履歴 .....	53
<b>6. パッケージのアンインストール</b> .....	<b>54</b>
6.1 アンインストールの事前準備 .....	54
6.2 アンインストールの手順.....	56

# 1. セットアップ手順

ここでは@Tovas for Salesforce のセットアップ手順について説明します。

## 1.1 @Tovas for Salesforce とは

株式会社オプロが提供する Salesforce パッケージ「docutize」の拡張パッケージです。  
コクヨ社の@Tovas サービスを Salesforce から利用できるようになります。

**注意** 組織に docuize がインストールされていることが前提です。

## 1.2 拡張パッケージ「@Tovas for Salesforce」のインストール

1. システム管理者で Salesforce にログインし、以下の URL で@Tovas for Salesforce をインストールします。  
<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000003x5eu>
2. 「すべてのユーザのインストール」を選択し、[インストール]ボタンをクリックします。  
※バージョン番号は画像と異なる可能性があります。



3. 「はい、これらのサードパーティ Web サイトにアクセスを許可します」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。

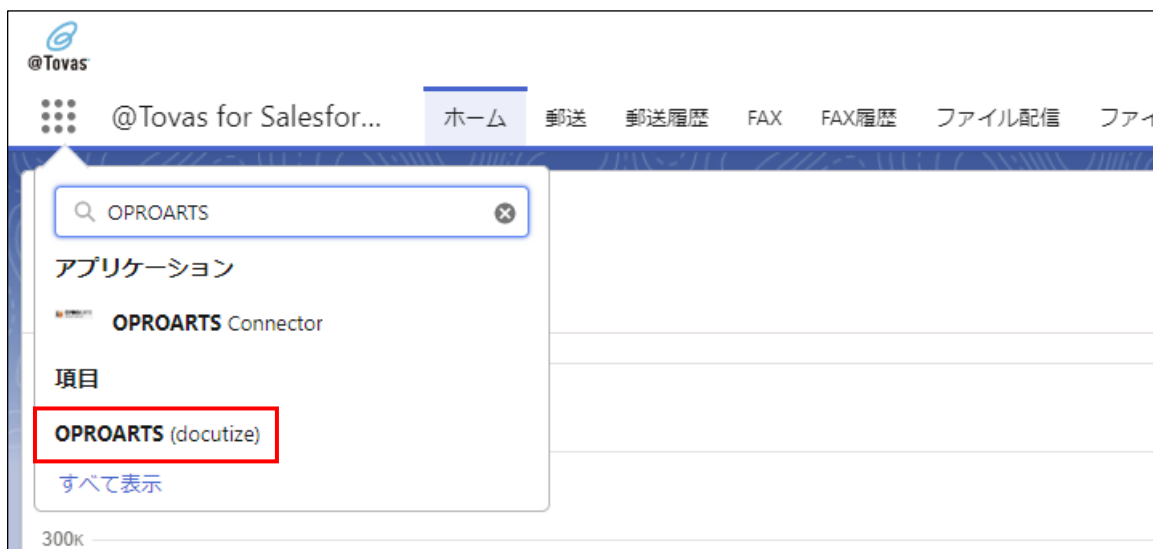


4. インストールが完了すると、システム管理者にメールで通知されます。

## 1.3 各種設定 (Salesforce)

### 1.3.1 認証情報登録画面を開く

1. アプリケーションランチャーアイコンをクリックし、検索欄に「OPROARTS」と入力すると「OPROARTS(docutize)」が表示されるので、クリックします。



2. 「OPROARTS Connector 認証情報」画面が表示されます。





### 1.3.2 管理者ライセンスを登録する

1. 「OPROARTS Connector 認証情報」画面下部の「OPROARTS (docutize)」で次の項目を設定し、[追加] ボタンをクリックします。

OPROARTS (docutize) : LAD を選択

CID: オブロから送付された OPROARTS の CID を入力

OPROARTS (docutize)		
アクション	OPROARTS (docutize)	CID
<input type="button" value="追加"/>	デザイン(LAD) ▼	<input type="text" value="CID"/>

2. 設定した LAD 情報が下行に追加されます。[LAD] リンクをクリックします。

<a href="#">編集</a>   <a href="#">削除</a>   <a href="#">LAD</a>
---

3. 「LAD」画面が表示されます。「User」の [虫眼鏡マーク(アイコンで表示)] をクリックします。

« 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)			
アクション	ユーザ	UID	UPW
<input type="button" value="追加"/>	<input type="text"/> <input type="button" value="🔍"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

4. 「検索」画面が表示されます。帳票設計を行うユーザを選択します。

**検索**

他の文字の横にワイルドカード「\*」を使用してより高度な検索をすることができます。

**最近参照したユーザ**

氏名	ロール
Platform ユーザ	
標準 ユーザ	

5. 「LAD」画面に戻ります。「User」に、選択したユーザが表示されていることを確認したら、株式会社オプロから送付されたテキストファイルに記載の情報を次の項目に入力し、「追加」ボタンをクリックします。

« 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	Platform ユーザ	UID	UPW

6. 設定したユーザ情報が下行に追加されます。  
帳票設計を行うユーザについて、3～5の作業を繰り返します。
7. 「一覧に戻る」リンクをクリックします。

« 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)

アクション	ユーザ
追加	
編集   削除	Platform ユーザ

### 1.3.3 一般ユーザライセンス(FAX 送信を実行するユーザライセンス)を登録する

1. 「OPROARTS Connector 認証情報」画面下部の「OPROARTS (docutize)」で次の項目を設定し、[追加] ボタンをクリックします。

OPROARTS (docutize) : LA を選択

CID: オプロから送付された OPROARTS の CID を入力

OPROARTS (docutize)		
アクション	OPROARTS (docutize)	CID
<input type="button" value="追加"/>	帳票 (LA) ▼	<input type="text" value="CID"/>

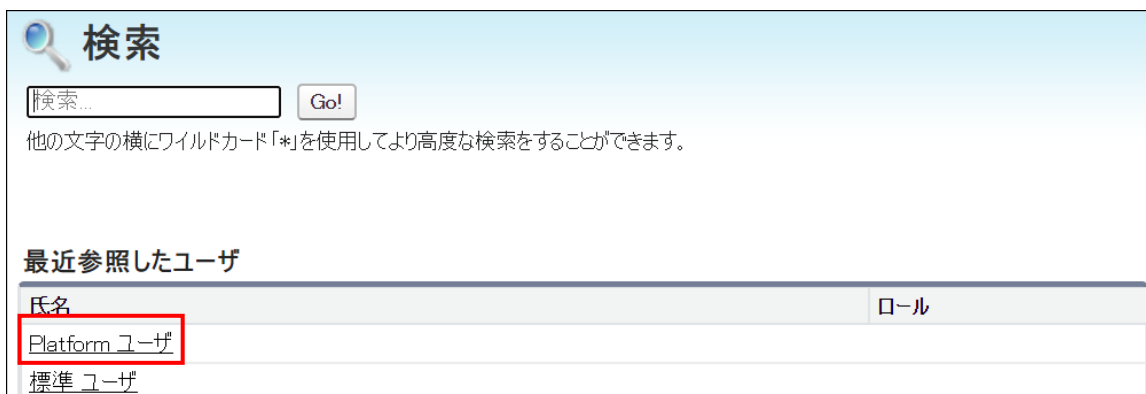
2. 設定した LA 情報が下行に追加されます。[LA] リンクをクリックします。

<a href="#">編集</a>   <a href="#">削除</a>   <a href="#">LA</a>
--

3. 「LA」画面が表示されます。「User」の [虫眼鏡マーク(アイコンで表示)] をクリックします。

<a href="#">« 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)</a>			
OPROARTSユーザ (docutize)			
アクション	ユーザ	UID	UPW
<input type="button" value="追加"/>	<input type="text"/> <input type="button" value="🔍"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

4. 「検索」画面が表示されます。FAX 送信を行うユーザを選択します。



検索

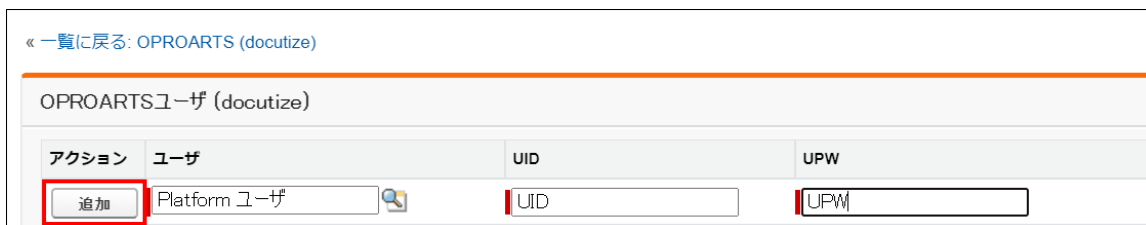
検索... Go!

他の文字の横にワイルドカード「\*」を使用してより高度な検索をすることができます。

最近参照したユーザ

氏名	ロール
Platform ユーザ	
標準 ユーザ	

5. 「LA」画面に戻ります。「User」に、選択したユーザが表示されていることを確認したら、株式会社オプロから送付されたテキストファイルに記載の情報を次の項目に入力し、[追加] ボタンをクリックします。

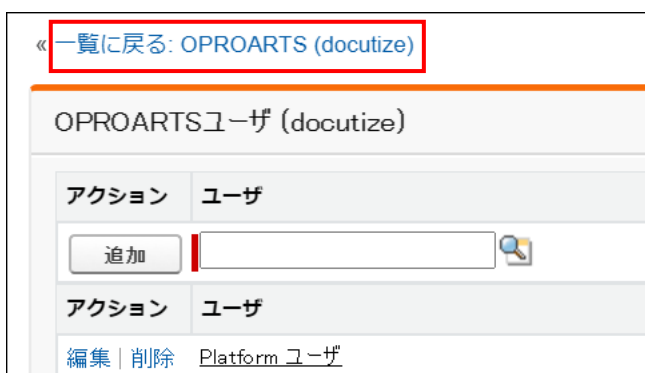


« 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)

アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	Platform ユーザ	UID	UPW

6. 設定したユーザ情報が下行に追加されます。  
FAX 送信を行うユーザについて、3 ~ 5 の作業を繰り返します。
7. [一覧に戻る] リンクをクリックします。



« 一覧に戻る: OPROARTS (docutize)

OPROARTSユーザ (docutize)

アクション	ユーザ
追加	
編集   削除	Platform ユーザ

### 1.3.4 D3Worker ユーザライセンスを登録する

@Tovas for Salesforce の FAX 機能では D3Worker を使用するため、D3Worker についてもユーザライセンスを Salesforce 上に登録しておく必要があります。

1. 「OPROARTS Connector 認証情報」画面下部の「OPROARTS (docutize) 」で次の項目を設定し、[追加] ボタンをクリックします。

OPROARTS (docutize) : D3Worker (D3W) を選択

CID: オプロから送付された OPROARTS の CID を入力

OPROARTS (docutize)		
アクション	OPROARTS (docutize)	CID
<input type="button" value="追加"/>	D3Worker (D3W) ▼	<input type="text" value="CID"/>

2. 設定した D3W 情報が下行に追加されます。[D3W] リンクをクリックします。

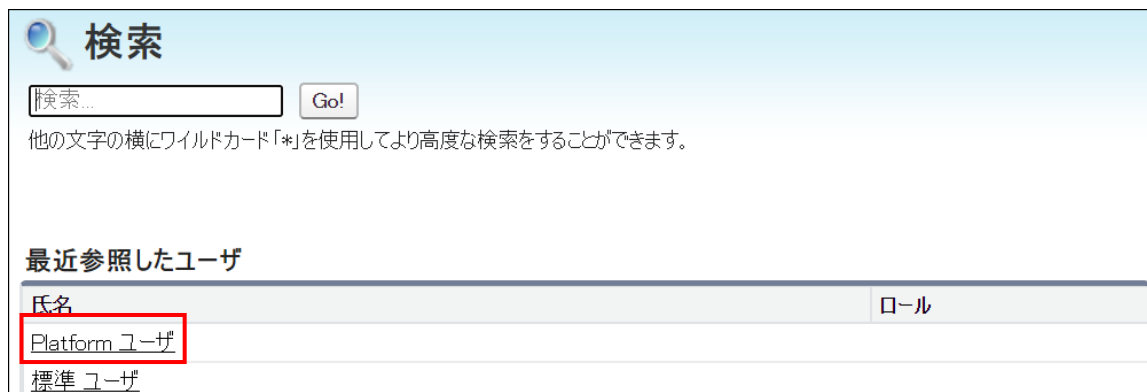
アクション	OPROARTS (docutize)
<a href="#">編集</a>   <a href="#">削除</a>	<a href="#">D3W</a>

3. 「D3W」画面が表示されます。「User」の [虫眼鏡マーク(アイコンで表示)] をクリックします。

« [一覧に戻る: OPROARTS \(docutize\)](#)

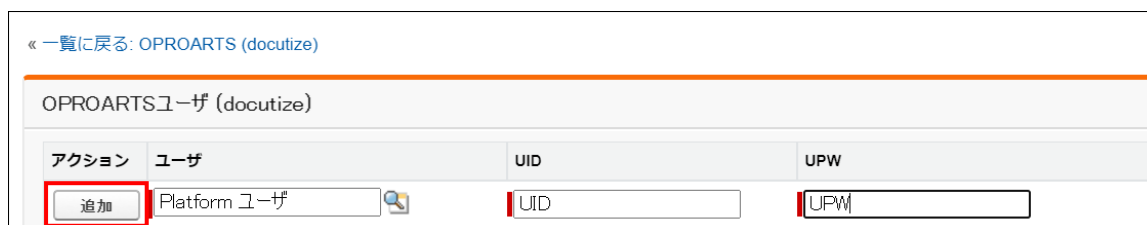
OPROARTSユーザ (docutize)			
アクション	ユーザ	UID	UPW
<input type="button" value="追加"/>	<input type="text"/> <input type="button" value="🔍"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

4. 「検索」画面が表示されます。FAX 送信設定を行うユーザを選択します。



氏名	ロール
Platform ユーザ	
標準 ユーザ	

5. 「D3W」画面に戻ります。「User」に、選択したユーザが表示されていることを確認したら、株式会社オプロから送付されたテキストファイルに記載の D3Worker 認証情報を次の項目に入力し、「追加」ボタンをクリックします。



アクション	ユーザ	UID	UPW
追加	Platform ユーザ	UID	UPW

6. 設定したユーザ情報が下行に追加されます。  
FAX 送信設定を行うユーザについて、3 ~ 5 の作業を繰り返します。

7. 「一覧に戻る」リンクをクリックします。



アクション	ユーザ
追加	

アクション	ユーザ
編集   削除	Platform ユーザ

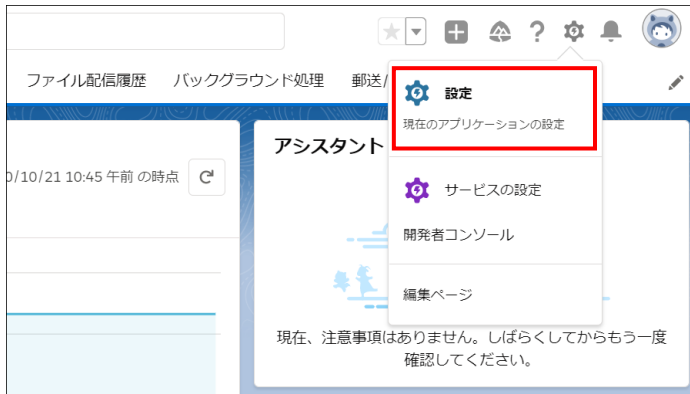
### 1.3.5 バックグラウンド処理の設定

FAX 送信に関わるバックグラウンド処理を実行するために必要な設定です。

[4.1 スケジューラ登録](#)に記載の通り、設定を行います。

## 1.3.6 カスタム設定「Docutize Statics Setting」の項目値を設定

1. 設定画面に移動します。



2. クイック検索ボックスに「カスタム設定」と入力し、[カスタム設定]リンクをクリックします。



3. 「Docutize Statics Setting」の左横にある[Manage]リンクをクリックします。

アクション	表示ラベル ↑	表示	設定種別	名前空間プレフィックス	説明
Manage	AppME Statics Setting	公開	階層	docutize	
Manage	Docutize Posting Statics Setting	公開	階層	docutizex04	Setting values for Docutize Posting.
Manage	Docutize Statics Setting	公開	階層	docutize	
Manage	Priority Value Mapping	公開	リスト	docutize	
Manage	WF Workflow Status Mapping	公開	リスト	docutize	

4. [編集]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Custom Settings' (カスタム設定) page. On the left, there is a search bar with 'カスタム設定' and a sidebar with 'カスタムコード' and 'カスタム設定'. The main content area is titled 'Docutize Statics Setting' and contains explanatory text. At the bottom of this section, there are two buttons: '編集' (Edit) and '削除' (Delete). The '編集' button is highlighted with a red box. Below this, there is a section for 'Default Organization Level Values' (デフォルトの組織レベルの値) with a table:

保存場所	製品検証用
Fax Address Name	docutize_fax_address

5. 「D3Worker API URL」の値に「https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/api/{お客様の D3Worker テナント名}」を入力して保存します。

The screenshot shows the 'Docutize Statics Setting の編集' (Edit) page. The title is 'Docutize Statics Setting の編集'. Below the title, there is a '保存' (Save) button and a 'キャンセル' (Cancel) button. The '保存' button is highlighted with a red box. The main content area is titled 'Docutize Statics Setting の情報' and contains a table with the following information:

保存場所	製品検証用
D3Worker API URL	https://d3w.ap.oproarts.c
Fax Address Name	docutize_fax_address
活動登録ON	<input checked="" type="checkbox"/>



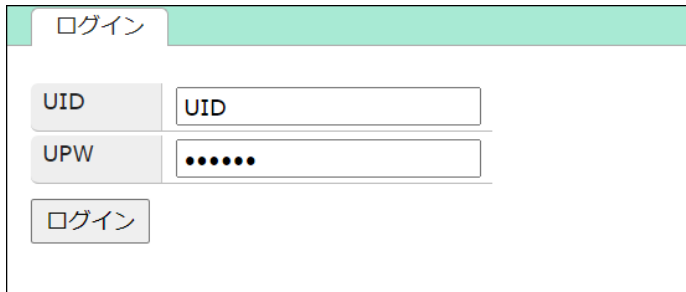
## 1.4 各種設定 (D3Worker)

### 1.4.1 ワーク・エンベロープ・サービスの雛形をインポート

1. 以下 URL より ZIP ファイルをダウンロードし、解凍します。

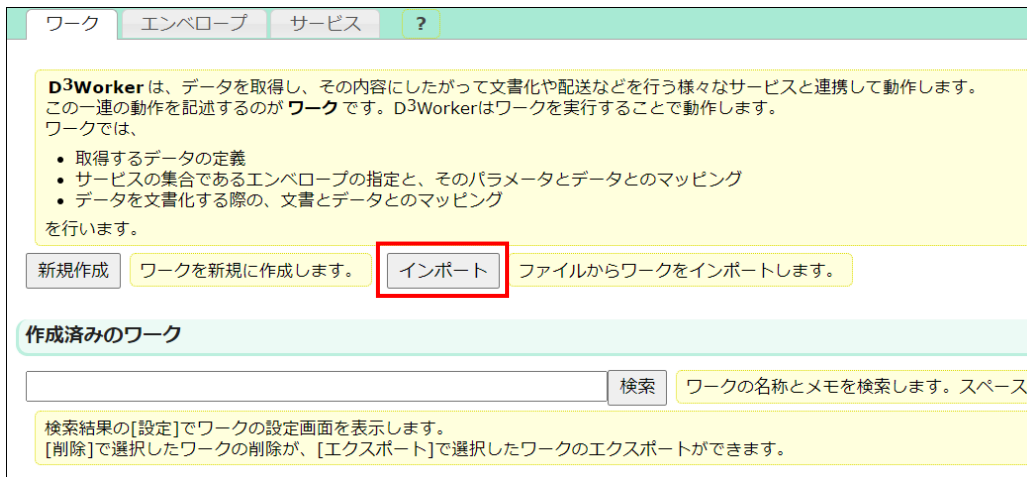
[https://www2.opro.net/jp/download/delivery/at\\_tovas\\_fax\\_work.zip](https://www2.opro.net/jp/download/delivery/at_tovas_fax_work.zip)

2. D3Worker にログインします。



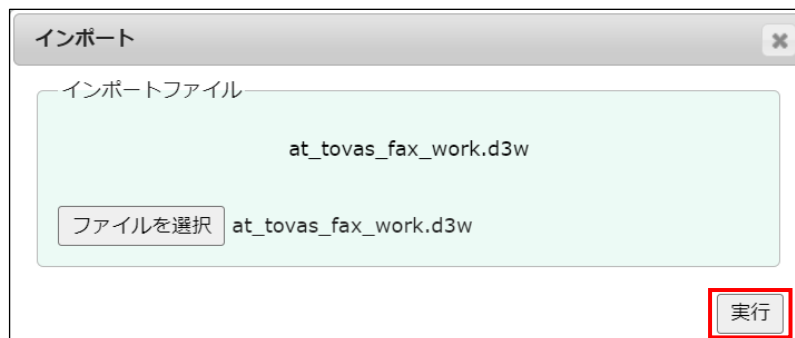
The image shows a login form with a green header bar containing the text "ログイン". Below the header, there are two input fields: "UID" with the text "UID" inside, and "UPW" with a masked password "•••••". Below these fields is a "ログイン" button.

3. 「ワーク」タブで「インポート」ボタンをクリックします。



The image shows the main interface of D3Worker. At the top, there are tabs: "ワーク", "エンベロープ", "サービス", and "?". Below the tabs is a yellow box containing text about D3Worker and a list of actions: "取得するデータの定義", "サービスの集合であるエンベロープの指定と、そのパラメータとデータとのマッピング", and "データを文書化する際の、文書とデータとのマッピング". Below this text are three buttons: "新規作成", "ワークを新規に作成します。", and "インポート" (highlighted with a red box), and "ファイルからワークをインポートします。". Below the buttons is a section titled "作成済みのワーク" with a search bar and a "検索" button. At the bottom, there is a yellow box containing text about search results and actions: "[設定]でワークの設定画面を表示します。", "[削除]で選択したワークの削除が、[エクスポート]で選択したワークのエクスポートができます。".

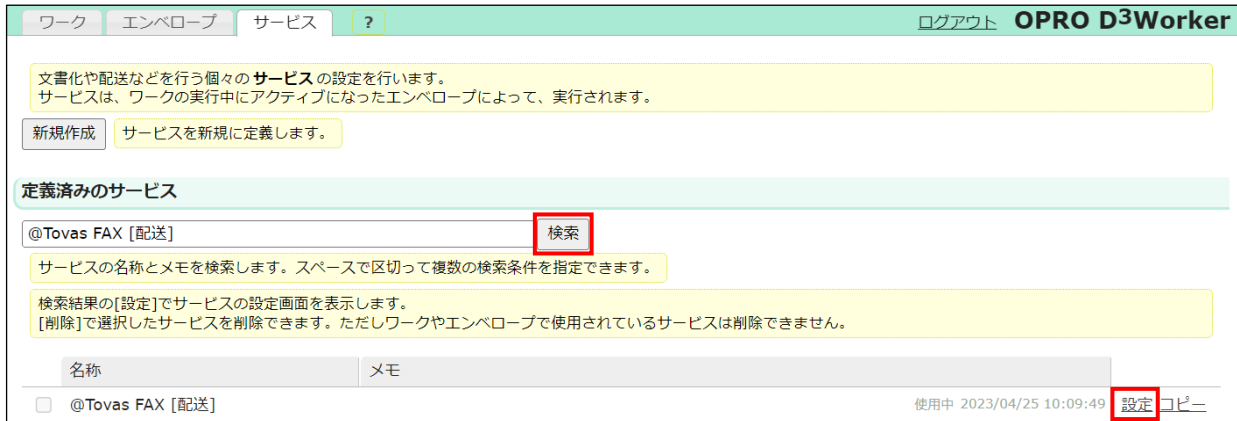
4. ダウンロードした ZIP ファイルに含まれる「at\_tovas\_fax\_work.d3w」を選択して、「実行」をクリックします。



The image shows an "インポート" dialog box. It has a title bar with "インポート" and a close button. Below the title bar is a section titled "インポートファイル" with a list of files: "at\_tovas\_fax\_work.d3w". Below the list is a "ファイルを選択" button and the text "at\_tovas\_fax\_work.d3w". At the bottom right of the dialog box is a red-bordered "実行" button.

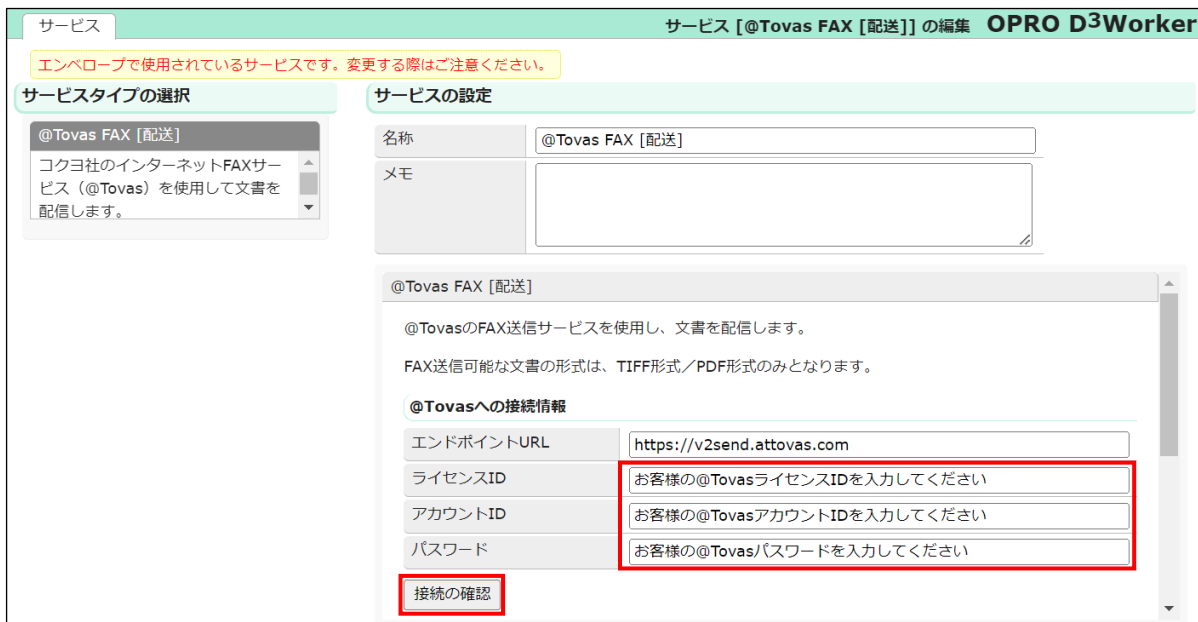
## 1.4.2 インポートしたサービスの設定編集

1. D3Workerの「サービス」タブへ移動します。
2. サービス「@Tovas FAX [配送]」の「設定」をクリックします。



3. 以下項目に、お客様の@Tovas アカウントの情報を入力します。

- ・ライセンス ID
- ・アカウント ID
- ・パスワード



入力したら「接続の確認」をクリックして、正常に@Tovasへ接続できるか確認してください。

4. その他の項目についてはお好みに編集して、保存をクリックします。

<b>接続情報</b>	
タイムアウト	接続のタイムアウト <input type="text" value="30"/> 秒、読み込みのタイムアウト <input type="text" value="300"/> 秒
<b>FAX送信情報</b>	
件名	<input type="text"/>
配信エラー通知メール	<input checked="" type="radio"/> 通知する <input type="radio"/> 通知しない
<b>FAX送信先情報</b>	
<div style="background-color: #ffffcc; padding: 2px;">[FAX送信先情報]はエンベロープにて設定を行ってください。</div>	

## 2. FAX(Salesforce 連携)

Salesforce のデータを用いた FAX 送信方法について説明します。

### 2.1 レコード作成

#### 2.1.1 新規 FAX 設定

1. [+新規 FAX]をクリックします。



2. FAX 名を入力します。



3. データタイプで[Salesforce]を選択します。



4. オブジェクト / 送付先マッピングに関する設定を行います。  
 詳しくは、2.1.2 詳細設定で説明します。

オブジェクト / 送付先マッピング

送付情報/帳票に使うオブジェクト

商談

FAX送信情報

件名 FAX\_Subject\_\_c 指定

FAX送信先情報

\* 送付先FAX番号 FAX\_Number\_\_c 指定

送信先名称 FAX\_Destination\_Nam 指定

システム

履歴書き戻し先 FAX\_History\_\_c 指定

「履歴書き戻し先」には、更新可能なFAX履歴オブジェクトへの参照フィールドが指定できます。指定されている場合、FAXジョブの受付時に、受け付けられたジョブを示すFAX履歴レコードの参照が書き戻されます。

5. テンプレートとワークの指定を行います。  
 詳しくは、2.1.2 詳細設定で説明します。

テンプレート / ワーク指定

帳票テンプレート

1 Billing 指定 + x

ここで指定されたテンプレートにもとづいて作成されたドキュメントが郵送されます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

- テンプレートタイプが「Live for Salesforce」のもの
- マッピング画面でオブジェクトと結び付けられていないもの（動的な項目の存在しないもの）、または、マッピング画面で「送付情報/帳票に使うオブジェクト」で選択されたオブジェクトと結び付けられているもの

注意点などの情報は以下のリンクを参照してください。

テンプレートについて

ジョブ登録時にドキュメントをダウンロードする

ジョブ登録時にドキュメントを添付する

- ドキュメントはジョブ登録に使われたレコードに添付されます。

[⇒ デザインを聞く](#)

ワーク (D3Worker)

FAXテスト

更新

ここで選択されたワークを使ってFAX送信がおこなわれます。

## Point

### 帳票テンプレート

ここで指定したテンプレートを使用してドキュメントが生成され、FAX 送信されます。

指定できるテンプレートの条件は以下です。

- テンプレートタイプが「Live for Salesforce」のもの
- マッピング画面でオブジェクトと結び付けられていないもの(動的な項目の存在しないもの)、またはマッピング画面で「送付情報/帳票に使うオブジェクト」で選択されたオブジェクトと結び付けられているもの

#### テンプレート / ワーク指定

##### 帳票テンプレート

1 Billing 指定 + x

ここで指定されたテンプレートにもとづいて作成されたドキュメントが郵送されます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

- テンプレートタイプが「Live for Salesforce」のもの
- マッピング画面でオブジェクトと結び付けられていないもの(動的な項目の存在しないもの)、または、マッピング画面で「送付情報/帳票に使うオブジェクト」で選択されたオブジェクトと結び付けられているもの

注意点などの情報は以下のリンクを参照してください。

[テンプレートについて](#)

ジョブ登録時にドキュメントをダウンロードする

ジョブ登録時にドキュメントを添付する

- ドキュメントはジョブ登録に使われたレコードに添付されます。

[\[> デザイナを開く\]](#)

その他、テンプレートに関する注意点については「テンプレートについて」をご覧ください。

[デザイナーを開く]ボタンで Designer にログインすることが可能です。

## Point

### ワーク

ここで指定した D3Worker のワークを使用して FAX 送信が行われます。

指定できるワークの条件は以下です。

- データソースのフィールドが「@Tovas for Salesforce の FAX」向けに設定されているもの(※)
- 設定が完了しているもの(実行可能なもの)

※詳細は、[ワークについて]リンク先のページをご覧ください。



ワーク (D3Worker)

FAXテスト

更新

ここで選択されたワークを使ってFAX送信がおこなわれます。

以下の定義済みのワークが選択できます。

- データソースのフィールドが「@Tovas for Salesforce のFAX送信」向けに設定されているもの。
- 設定が完了しているもの（実行可能なもの）

データソースのフィールド/注意点などの情報は以下のリンクを参照してください。

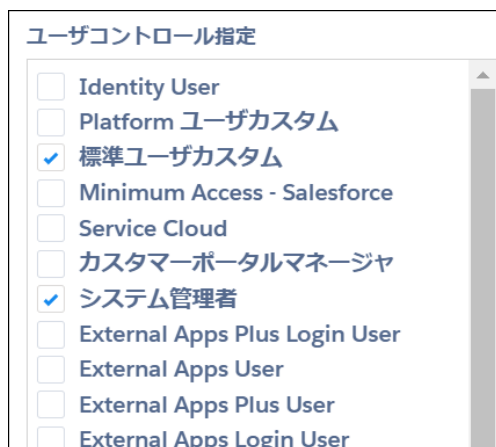
ワークについて

D3Workerを開く

[更新]ボタンをクリックすると、選択肢として表示されるワークが最新のもので更新されます。

[D3Worker]ボタンをクリックすると、D3Worker ログイン画面を開けます。

6. ユーザコントロール指定を行います。FAX 送信を実行するユーザプロフィールを指定します。
- ※ユーザコントロールに指定されていないプロフィールのユーザが処理を実行しようと[出力]ボタンをクリックするとエラーになります。



ユーザコントロール指定

- Identity User
- Platform ユーザカスタム
- 標準ユーザカスタム
- Minimum Access - Salesforce
- Service Cloud
- カスタマーポータルマネージャ
- システム管理者
- External Apps Plus Login User
- External Apps User
- External Apps Plus User
- External Apps Login User

7. [保存]ボタンをクリックします。

FAX 設定

FAX名 FAXテスト\_Salesforce

データタイプ

CSV

Salesforce

オブジェクト / 送付先マッピング

送付情報/帳票に使うオブジェクト

商談

FAX送信情報

件名 subject\_FAX\_\_c 指定

FAX送信先情報

\* 送付先FAX番号 number\_FAX\_\_c 指定

送信先名称 Destinationname\_FAX 指定

システム

履歴書き戻し先 FAXHistory\_\_c 指定

「履歴書き戻し先」には、更新可能なFAX関連オブジェクトへの参照フィールドが指定できます。指定されている場合、

テンプレート / ワーク指定

ワーク (D3Worker)

ワーク (D3Worker)

FAXテスト

更新

ここで選択されたワークを使ってFAX送信がおこなわれます。

以下の定義済みのワークが選択できます。

- データソースのフィールドが「@Tovus for Salesforce のFAX送信」向けに設定されているもの
- 設定が完了しているもの (実行可能なもの)

データソースのフィールド/注意点などの情報は以下のリンクを参照してください。

ワークについて

D3Workerを聞く

ユーザコントロール指定

Salesforce API Only System

Integrations

システム管理者

Chatter Free User

Analytics Cloud Integration User

Analytics Cloud Security User

External Apps Login User

Minimum Access - Salesforce

標準 Platform ユーザ

Customer Community Login User

Cross Org Data Proxy User

Authenticated Website

Work.com Only User

Customer Portal Manager

キャンセル 保存



## 2.1.2 詳細設定

### ■ オブジェクト / 送付先マッピング

1. 送付情報 / 帳票に使うオブジェクトを選択します。

オブジェクト / 送付先マッピング

送付情報 / 帳票に使うオブジェクト

商談

契約

注文

ドキュメント

メールテンプレート

キャンペーン

取引先

取引先責任者

リード

商談

添付ファイル

2. FAX 送信情報の[件名]、FAX 送信先情報の[送信先 FAX 番号][送信先名称]を指定します。  
[指定]ボタンをクリックし、項目を選択します。

FAX送信情報

件名	FAX_Subject__c	指定
----	----------------	----

FAX送信先情報

* 送信先FAX番号	FAX_Number__c	指定
送信先名称	FAX_Destination_Nam	指定

3. 1でFAX履歴(FAX History)オブジェクトへの参照項目を持つオブジェクトを選んだ場合、[履歴書き戻し先]としてその参照項目を指定できます。(指定は任意)

システム

履歴書き戻し先	FAX_History__c	<b>指定</b>
---------	----------------	-----------

「履歴書き戻し先」には、更新可能なFAX履歴オブジェクトへの参照フィールドが指定できます。指定されている場合、FAXジョブの受付時に、受け付けられたジョブを示すFAX履歴レコードの参照が書き戻されます。

フィールドの指定

項目名	API参照名
<input checked="" type="radio"/> FAX履歴	FAX_History__c

クリア **指定**

**Point**

- FAX ジョブを受け付けた際に、該当ジョブを示す FAX 履歴レコードの参照をジョブ実行したデータ元のレコードに書き戻します。
- 同じレコードから複数回 FAX した場合は、新しい FAX 履歴の参照で書き換えられます。
- 「再送」機能を使った場合は、FAX 履歴の参照はデータ元のレコードには書き戻されません。

## ■テンプレート / ワーク指定

1. FAX に使用する帳票テンプレートを指定します。[指定]ボタンをクリックしテンプレートを選択します。  
帳票に複数のテンプレートを使用する場合は、[+]ボタンで行を追加してください。

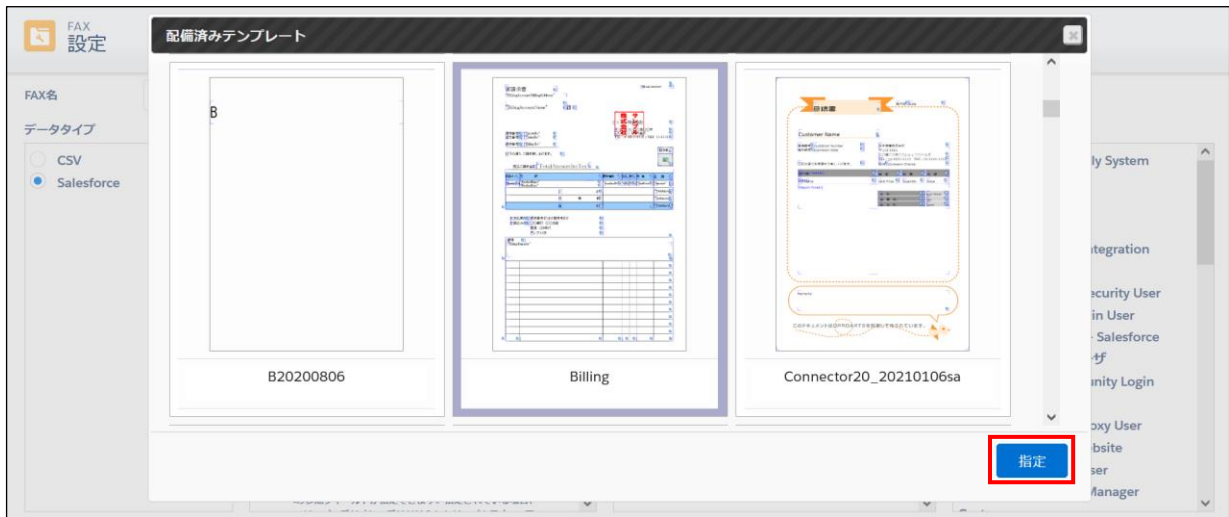
帳票テンプレート

1	<b>指定</b>	+	x
---	-----------	---	---

ここで指定されたテンプレートにもとづいて作成されたドキュメントが郵送されます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

- テンプレートタイプが「Live for Salesforce」のもの



2. FAX 送信を行う D3Worker のワークを選択します。

ワーク (D3Worker)

FAXテスト

**FAXテスト**

ワークについて

※選択肢として現れるワークの表示・[更新]クリック後のワーク情報更新には数秒かかることがあります。

以上の指定が済んだら、[2.1.1 新規 FAX 作成](#)の工程 6 に戻ります。

## 2.2 自動ジョブ登録: 有効

Apex Scheduler を使って FAX 送信を行うパターンについて説明します。

レコードの特定のチェックボックス項目が「false」の場合に自動的に FAX 送信が実行されるよう設定が可能です。成功/エラーを問わず、ジョブの登録後は指定されたチェックボックスフィールドの値が「true」に更新されます。

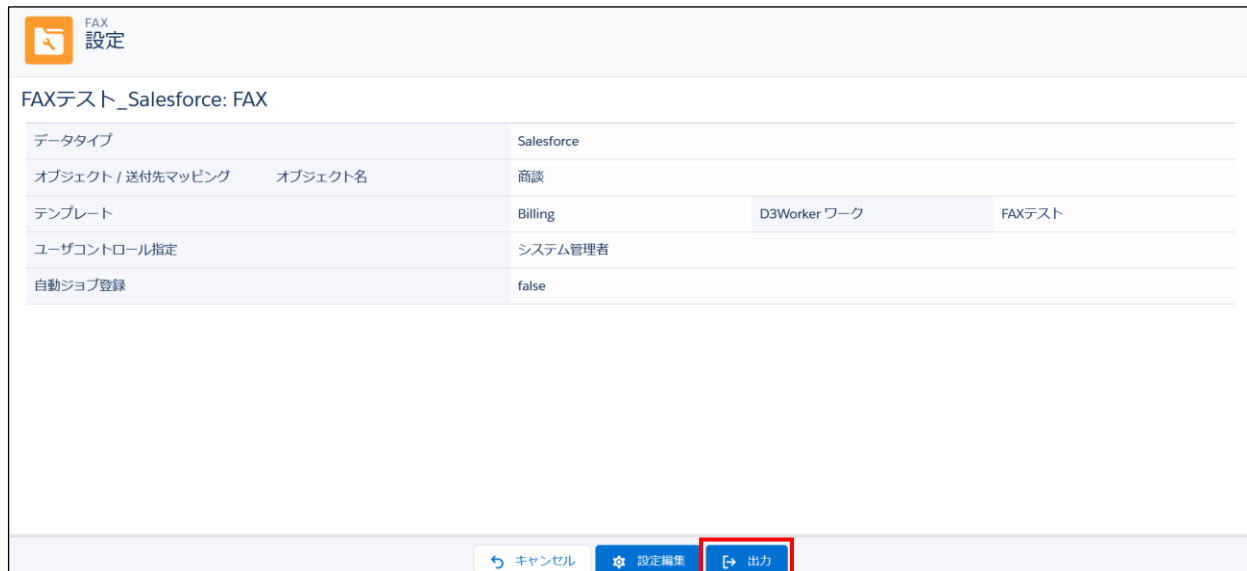
### ■ 設定方法

1. 「FAX」レコードで指定したオブジェクトに、任意のチェックボックス項目を用意します。



The screenshot shows a Salesforce record page for 'v1.3 FAX送信テスト' under the '商談' object. The 'FAX送信情報' section is expanded, showing fields for 'FAX履歴', 'FAX件名', and 'FAX送信先情報'. The checkbox for '自動ジョブ実行済み\_FAX' is checked and highlighted with a red box.

2. FAX レコードの詳細画面で[出力]ボタンをクリックします。



The screenshot shows the 'FAX設定' detail page for 'FAXテスト\_Salesforce: FAX'. The page displays a table with configuration details. The '出力' button is highlighted with a red box.

データタイプ	値
データタイプ	Salesforce
オブジェクト / 送付先マッピング	オブジェクト名: 商談
テンプレート	Billing, D3Worker ワーク, FAXテスト
ユーザコントロール指定	システム管理者
自動ジョブ登録	false

3. 自動ジョブ登録で[有効]を選択します。

自動ジョブ登録

無効  
 有効

有効にすると、スケジュール設定にもとづいてジョブが自動的に登録されます。

スケジュール設定

自動ジョブ登録制御項目の指定

4. 自動ジョブ登録制御項目の指定で項目を指定します。

スケジュール設定

自動ジョブ登録制御項目の指定

自動ジョブ実行済み\_FAX (AutoJobDone\_FAX\_\_c)

チェックボックス項目を指定してください。指定された項目がfalseのレコードが自動ジョブ登録の対象となります。ジョブ登録完了後にこの項目の値はシステムによってtrueに更新されます。

- 1時間毎に実行されるタスクが5個登録されます。個数はカスタム設定で変更できます。(最小5個、最大12個です。時刻の指定はできません)
- 1回のタスクで登録されきれなかったジョブは次回以降のタスクで引き続き処理されます。
- タスクはここで保存操作をおこなったユーザの権限で実行されます。FAXオブジェクトの参照/FAX履歴オブジェクトの作成/データ元オブジェクトの参照・更新権限が必要です。

5. [保存]ボタンをクリックします。

FAX 出力

FAXテスト\_Salesforce: FAX

自動ジョブ登録

無効  
 有効

有効にすると、スケジュール設定にもとづいてジョブが自動的に登録されます。

スケジュール設定

自動ジョブ登録制御項目の指定

自動ジョブ実行済み\_FAX (AutoJobDone\_FAX\_\_c)

チェックボックス項目を指定してください。指定された項目がfalseのレコードが自動ジョブ登録の対象となります。ジョブ登録完了後にこの項目の値はシステムによってtrueに更新されます。

- 1時間毎に実行されるタスクから個登録されます。個数はカスタム設定で変更できます。(最小5個、最大12個です。時刻の指定はできません)
- 1回のタスクで登録されきれなかったジョブは次回以降のタスクで引き続き処理されます。
- タスクはここで保存操作をおこなったユーザの権限で実行されます。FAXオブジェクトの参照/FAX履歴オブジェクトの作成/データ元オブジェクトの参照・更新権限が必要です。

手動ジョブ登録

ボタンの種類

詳細ボタン  
 リストボタン

ボタンのラベル

ボタンの名前

ボタンの説明

ジョブを手動で登録したい場合は、ここでボタンを生成しページレイアウトに表示してください。ボタンからのジョブ登録は、自動ジョブ登録の「無効」「有効」にかかわらずおこなうことができます。

生成

キャンセル 保存

**Point**

Apex Scheduler には以下の制約があります。

- 1 時間毎に実行されるタスクが 5 個登録されます。個数はカスタム設定で変更できます。(最小 5 個、最大 12 個です。時刻の指定はできません)
- 1 回のタスクで登録されきれなかったジョブは次回以降のタスクで引き続き処理されます。
- タスクはここで保存操作をおこなったユーザの権限で実行されます。
- FAX オブジェクトの参照/FAX オブジェクトの作成/データ元オブジェクトの参照・更新権限が必要です。

**注意**

成功/失敗の確認は「FAX 履歴レコード」から確認する為、対象レコード上からは成功/失敗は確認できません。

## 2.3 自動ジョブ登録: 無効

ボタンをクリックして FAX 送信を行うパターンについて説明します。

### 2.3.1 詳細ページから出力する場合

1. 自動ジョブ登録で[無効]を選択します。

自動ジョブ登録

無効  
 有効

有効にすると、スケジュール設定にもとづいてジョブが自動的に登録されます。

2. 手動ジョブ登録：ボタンの種類で[詳細ボタン]を選択し、[ボタンのラベル][ボタンの名前]を入力します。[ボタンの説明]は任意に入力します。

手動ジョブ登録

ボタンの種類

詳細ボタン  
 リストボタン

ボタンのラベル

詳細ボタンサンプル\_FAX

ボタンの名前

detail\_button\_sample\_fax

ボタンの説明

マニュアル・Salesforce連携用

3. [生成]ボタンをクリックします。

ボタンの説明

マニュアル・Salesforce連携用

ジョブを手動で登録したい場合は、ここでボタンを生成しページレイアウトに表示してください。ボタンからのジョブ登録は、自動ジョブ登録の「無効」「有効」にかかわらずおこなうことができます。

[> 生成]

4. [保存]ボタンをクリックします。

FAX 出力

FAXテスト\_Salesforce: FAX

自動ジョブ登録

無効  
 有効

有効にすると、スケジュール設定にもとづいてジョブが自動的に登録されます。

手動ジョブ登録

ボタンの種類

詳細ボタン  
 リストボタン

ボタンのラベル

詳細ボタンサンプル\_FAX

ボタンの名前

detail\_button\_sample\_fax

ボタンの説明

マニュアル・Salesforce連携用

生成

キャンセル 保存

5. ボタンを配置するオブジェクトの[設定]> [オブジェクトを編集]をクリックします。

@Tovas

検索...

@Tovas for Salesfor... ホーム 郵送 郵送履歴 FAX FAX履歴 ファイル配信 ファイル配信履歴 v1.3 FAX送信テスト

設定

現在のアプリケーションの設定

サービスの設定

開発者コンソール

編集ページ

オブジェクトを編集

マーク

商談

v1.3 FAX送信テスト

+ フォローする 新規

取引先名 完了予定日 金額 商談 所有者

2021/03/05 ¥270,000 test1 @Tovas

Prospecting Qualification Needs Anal... Value Propo... Id. Decision ... Perception ... Proposal/Pri... Negotiation... クローズ済み

活動 詳細 Chatter

新規ToDo 活動の記録 新規行動 メール

条件: 常時・すべての活動・すべての種別

更新・すべて展開・すべて表示

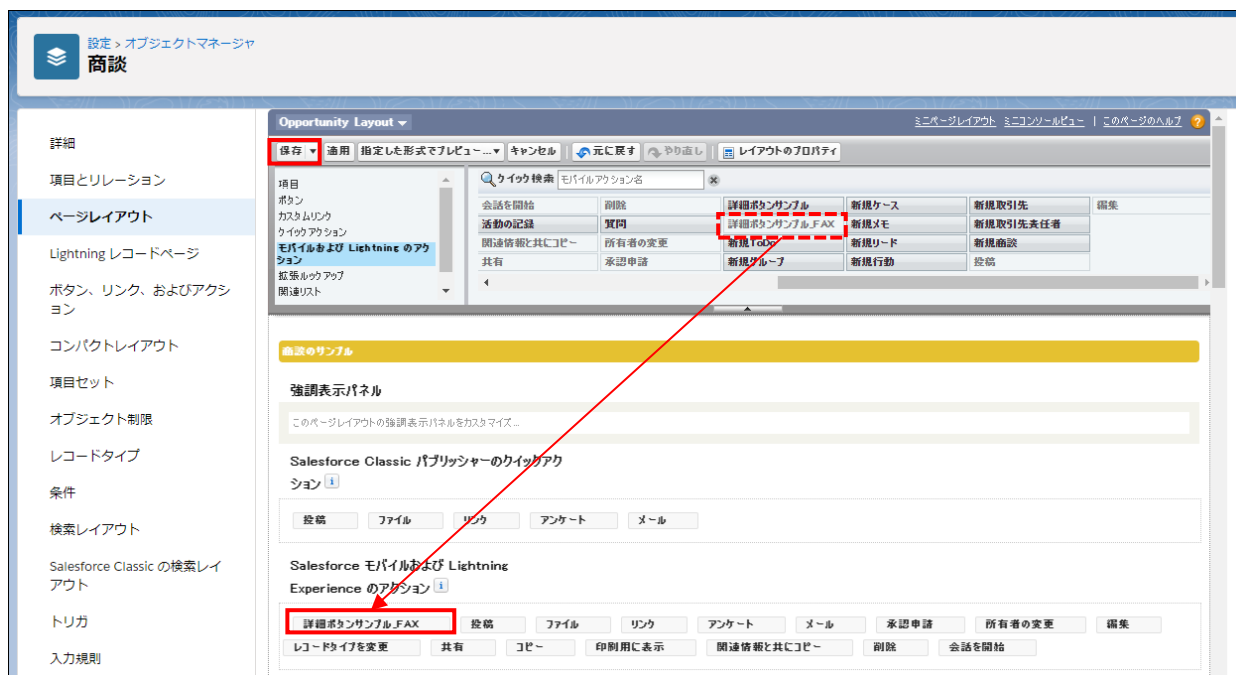
関連

商品 (3+)

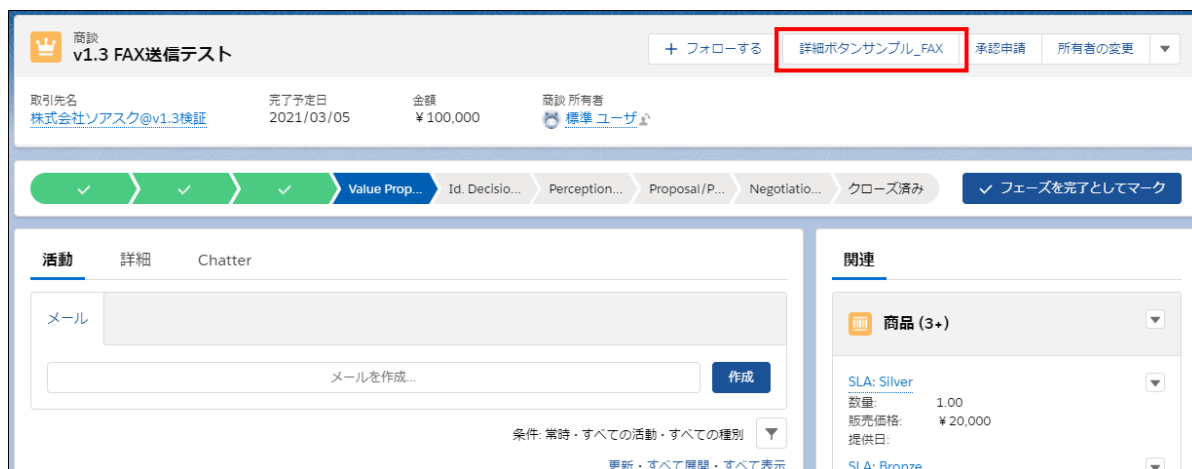
SLA: Bronze



6. ページレイアウト設定で作成したボタンを配置させ、設定を保存します。



7. 設置されたボタンをクリックし FAX 送信を実行します。



## 2.3.2 リストページから出力する場合

---

1. 自動ジョブ登録で[無効]を選択します。

自動ジョブ登録

無効  
 有効

有効にすると、スケジュール設定にもとづいてジョブが自動的に登録されます。

2. 手動ジョブ登録：ボタンの種類で[リストボタン]を選択し、[ボタンのラベル][ボタンの名前]を入力します。[ボタンの説明]は任意に入力します。

手動ジョブ登録

ボタンの種類

詳細ボタン  
 リストボタン

ボタンのラベル

リストボタンサンプル\_FAX

ボタンの名前

list\_button\_sample\_fax

ボタンの説明

マニュアル・Salesforce連携用

3. [生成]ボタンをクリックします。

ボタンの説明

マニュアル・Salesforcde 連携用

ジョブを手動で登録したい場合は、ここでボタンを生成しページレイアウトに表示してください。ボタンからのジョブ登録は、自動ジョブ登録の「無効」「有効」にかかわらずおこなうことができます。

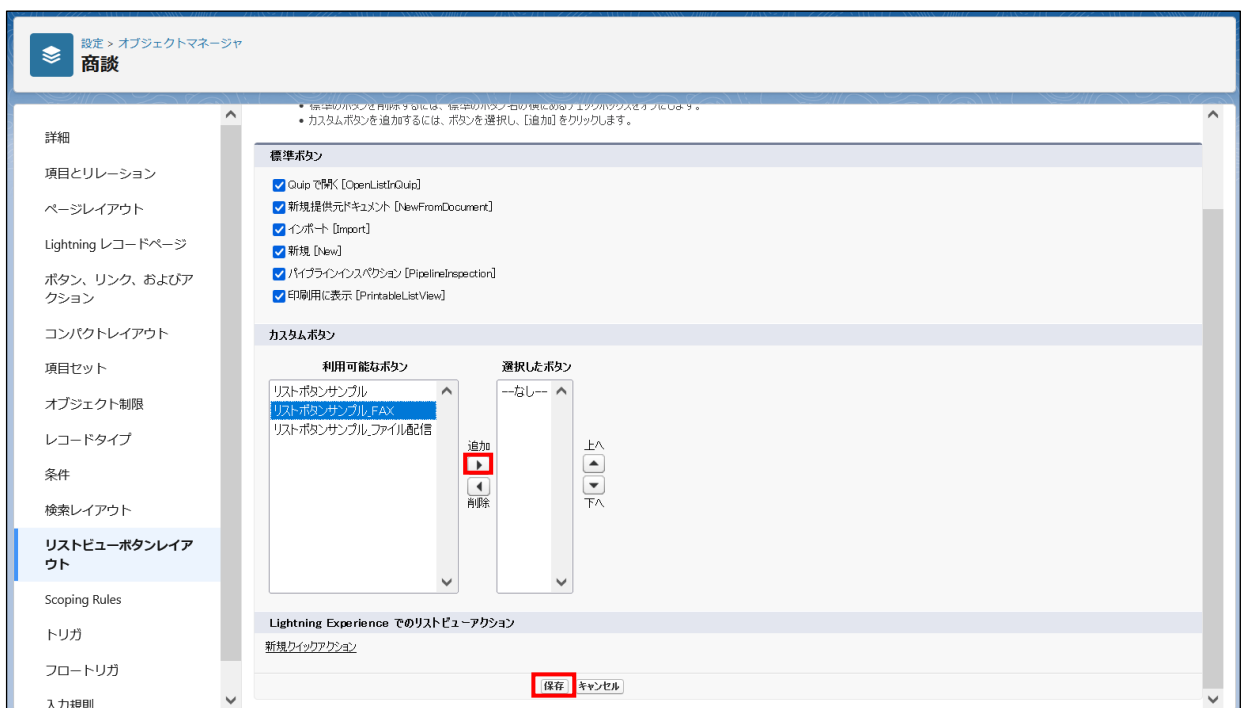
4. [保存]ボタンをクリックします。

5. ボタンを配置するオブジェクトの[設定]> [オブジェクトを編集]をクリックします。

6. [リストビューボタンレイアウト]> [リストビュー]の編集をクリックします。



7. カスタムボタンの[利用可能なボタン]に作成したボタンが表示されるので、ボタンを選択して[追加]をクリックし、[選択したボタン]に移動させ、保存をクリックします。



8. 設置したボタンをクリックし FAX 送信を実行します。

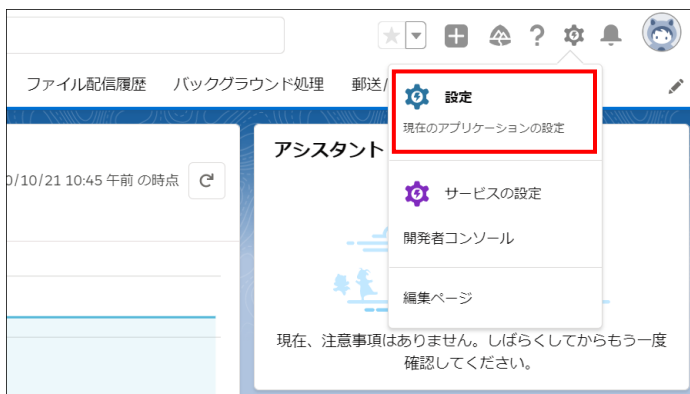


### 2.3.3 ボタン設置後の注意点

ボタンを設置しても、ボタンで使用している Visualforce ページ（ボタン生成時に同じく自動生成される）に対するアクセス許可がされていない場合はボタンを使用できません。

ユーザのプロファイル設定で、Visualforce ページへのアクセスを許可します。手順は以下です。

1. 設定画面に移動します。



2. クイック検索ボックスに「プロフィール」と入力し、ユーザ > プロファイル をクリックします。



3. FAX 送信を行うユーザのプロファイルのリンクをクリックします。

The screenshot shows the Salesforce 'Profiles' page. On the left, there is a search bar and a 'ユーザ' (Users) dropdown menu with 'プロフィール' (Profiles) selected. Below this, a message asks if the user is having trouble finding profiles and suggests a global search. The main area displays a list of profiles with columns for '編集' (Edit), profile name, and '有効' (Active) checkbox. The 'Platform ユーザカスタム' (Platform User Custom) profile is highlighted with a red box, and its checkbox is checked.

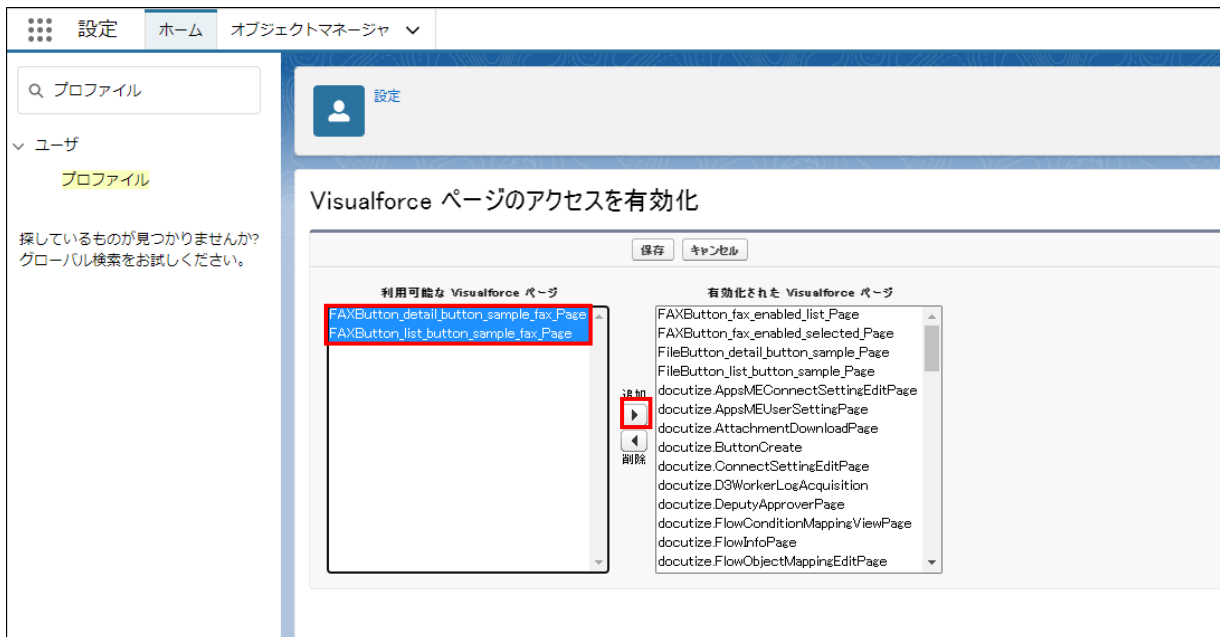
編集	プロフィール名	有効
編集	Executive Identity User	<input type="checkbox"/>
編集	Force.com - Free User	<input type="checkbox"/>
編集	Gold Partner User	<input type="checkbox"/>
編集	High Volume Customer Portal	<input type="checkbox"/>
編集	High Volume Customer Portal User	<input type="checkbox"/>
編集	Identity User	<input type="checkbox"/>
編集	Minimum Access - Salesforce	<input type="checkbox"/>
編集	Overseas Customer Portal Manager Custom	<input type="checkbox"/>
編集	Overseas Customer Portal Manager Standard	<input type="checkbox"/>
編集	Overseas High Volume Customer Portal User	<input type="checkbox"/>
編集	Partner Community Login User	<input type="checkbox"/>
編集	Partner Community User	<input type="checkbox"/>
編集   削除	Platform ユーザカスタム	<input checked="" type="checkbox"/>
編集	Service Cloud	<input type="checkbox"/>
編集	Silver Partner User	<input type="checkbox"/>
編集	Work.com Only User	<input type="checkbox"/>
編集	カスタマーポータルマネージャ	<input type="checkbox"/>
編集	システム管理者	<input type="checkbox"/>
編集	ソリューション管理者	<input type="checkbox"/>
編集	パートナーユーザ	<input type="checkbox"/>
編集	マーケティングユーザ	<input type="checkbox"/>
編集	契約管理者	<input type="checkbox"/>
編集	承認のみ	<input type="checkbox"/>
編集	標準 Platform ユーザ	<input type="checkbox"/>
編集	標準ユーザ	<input type="checkbox"/>
編集   削除	標準ユーザカスタム	<input checked="" type="checkbox"/>

4. 画面を下にスクロールし、「有効な Visualforce ページアクセス」の[編集]をクリックします。

The screenshot shows the same Salesforce 'Profiles' page, but scrolled down to the '有効な Visualforce ページアクセス' (Active Visualforce Page Access) section. The '編集' (Edit) button is highlighted with a red box. The page lists various Visualforce pages and their access status for the selected profile.

Visualforce ページ名	AppExchange パッケージ名
FAXButton_fx.enabled_list_Page	
FAXButton_fx.enabled_selected_Page	
FileButton_file.enabled_list_Page	
FileButton_file.enabled_selected_Page	
docu.tize.AppsMEConnectSettingEditPage	docu.tize
docu.tize.AppsMEUserSettingPage	docu.tize
docu.tize.AttachmentDownloadPage	docu.tize

5. ボタンで使用している Visualforce ページ（Visualforce ページ名から判別可能です）を「有効化された Visualforce ページ」に追加し、[保存]をクリックします。

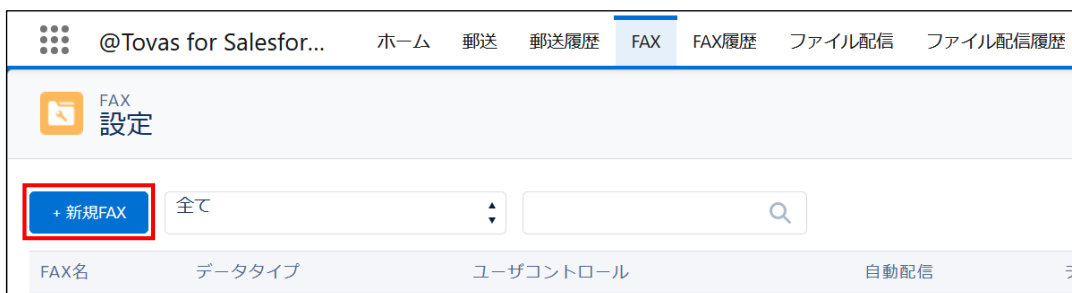


# 3. FAX(CSV 連携)

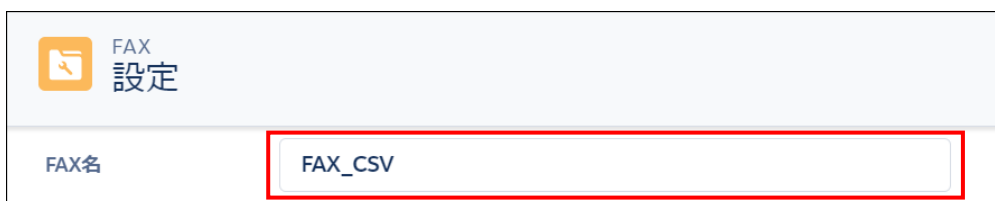
CSVデータを用いた FAX 送信方法について説明します。

## 3.1 レコード作成

1. [FAX]タブで[+新規 FAX]ボタンをクリックします。



2. 任意の FAX 名を設定します。



3. データタイプでは使用するデータのタイプを設定します。  
今回は「CSV」のデータと使用するため、「CSV」にチェックを入れます。





4. CSV 列指定では送付情報に使うフィールドや帳票生成に使用するフィールドの設定をします。  
送付先情報には先頭から 4 番目までのフィールド情報が使われます。4 番目までのデータは実行するのに最低限必要なフィールドです。CSV データの形式等については「CSV について」をご覧ください。

CSV列指定

送付情報に使うフィールド

送付先情報には先頭から4番目のフィールドの情報が使われます。以下のリンクからCSVの詳細な情報を得ることができます。

[CSVについて](#)

帳票生成に使うフィールド

帳票生成にCSVのデータを使います。

列目以降のフィールドを帳票生成に使います。

CSVに明細データを含みます。

列目以降のフィールドを明細データとして使います。

CSV のデータを帳票生成に使用したい場合は、「帳票生成に CSV のデータを使います。」にチェックを入れ、何列目以降のフィールドを使用するかを設定します。例では、5 列目と指定しています。

CSV列指定

送付情報に使うフィールド

送付先情報には先頭から4番目のフィールドの情報が使われます。以下のリンクからCSVの詳細な情報を得ることができます。

[CSVについて](#)

帳票生成に使うフィールド

帳票生成にCSVのデータを使います。

列目以降のフィールドを帳票生成に使います。

CSVに明細データを含みます。

列目以降のフィールドを明細データとして使います。

CSV データに明細データを含む場合は、「CSV に明細データを含みます。」にチェックを入れ、何列目以降のフィールドを使用するかを設定します。例では、10 列目と指定しています。

5. テンプレート / ワーク指定では使用する帳票テンプレートと D3Worker のワークを指定します。

#### Point

#### 帳票テンプレート

ここで指定したテンプレートを使用してドキュメントが生成され、FAX 送信されます。

指定できるテンプレートの条件は以下です。

- テンプレートタイプが「Live」のもの
- マッピング画面の「CSV 定義」が 3 個以上されていないもの
- マッピング画面の「CSV 定義」に「固定長」が指定されていないもの
- マッピング画面の「CSV 定義」「フィールド区切り記号」に「,」以外が指定されていないもの
- マッピング画面の「CSV 定義」「文字列の引用符」に「"」以外が指定されていないもの
- マッピング画面の「CSV 定義」「先頭行を無視する」のチェックがつけられていないもの

## テンプレート / ワーク指定

### 帳票テンプレート

1 Billing 指定 + x

ここで指定されたテンプレートにもとづいて作成されたドキュメントが郵送されます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

以下の配備済みのテンプレートが選択できます。

- テンプレートタイプが「Live for Salesforce」のもの
- マッピング画面でオブジェクトと結び付けられていないもの（動的な項目の存在しないもの）、または、マッピング画面で「送付情報/帳票に使うオブジェクト」で選択されたオブジェクトと結び付けられているもの

注意点などの情報は以下のリンクを参照してください。

[テンプレートについて](#)

ジョブ登録時にドキュメントをダウンロードする

ジョブ登録時にドキュメントを添付する

- ドキュメントはジョブ登録に使われたレコードに添付されます。

[\[> デザイナを開く\]](#)

その他、テンプレートに関する注意点については「テンプレートについて」をご覧ください。

[デザイナーを開く]ボタンで Designer にログインすることが可能です。

## Point

### ワーク

ここで指定した D3Worker のワークを使用して FAX 送信が行われます。

指定できるワークの条件は以下です。

- データソースのフィールドが「@Tovas for Salesforce の FAX 送信」向けに設定されているもの(※)
- 設定が完了しているもの（実行可能なもの）

※詳細は、[ワークについて]リンク先のページをご覧ください。

### ワーク (D3Worker)

FAXテスト

[更新](#)

ここで選択されたワークを使ってFAX送信がおこなわれます。

以下の定義済みのワークが選択できます。

- データソースのフィールドが「@Tovas for Salesforce のFAX送信」向けに設定されているもの。
- 設定が完了しているもの（実行可能なもの）

データソースのフィールド/注意点などの情報は以下のリンクを参照してください。

[ワークについて](#)

[\[> D3Workerを開く\]](#)

[更新]ボタンをクリックすると、選択肢として表示されるワークが最新のものです更新されます。

[D3Worker]ボタンをクリックすると、D3Worker ログイン画面を開けます。

6. ユーザコントロール指定では、処理を実行する Salesforce プロファイルを指定します。  
※ユーザコントロールに指定されていないプロファイルのユーザが処理を実行しようと[出力]ボタンをクリックするとエラーになります。

ユーザコントロール指定

- Identity User
- Platform ユーザカスタム
- 標準ユーザカスタム
- Minimum Access - Salesforce
- Service Cloud
- カスタマーポータルマネージャ
- システム管理者
- External Apps Plus Login User
- External Apps User
- External Apps Plus User
- External Apps Login User

[保存]ボタンをクリックして、FAX レコードを保存します。

FAX 設定

FAX名: FAX\_CSV

データタイプ: CSV

CSV列指定

送付情報に使うフィールド: 5

帳票生成に使うフィールド: 10

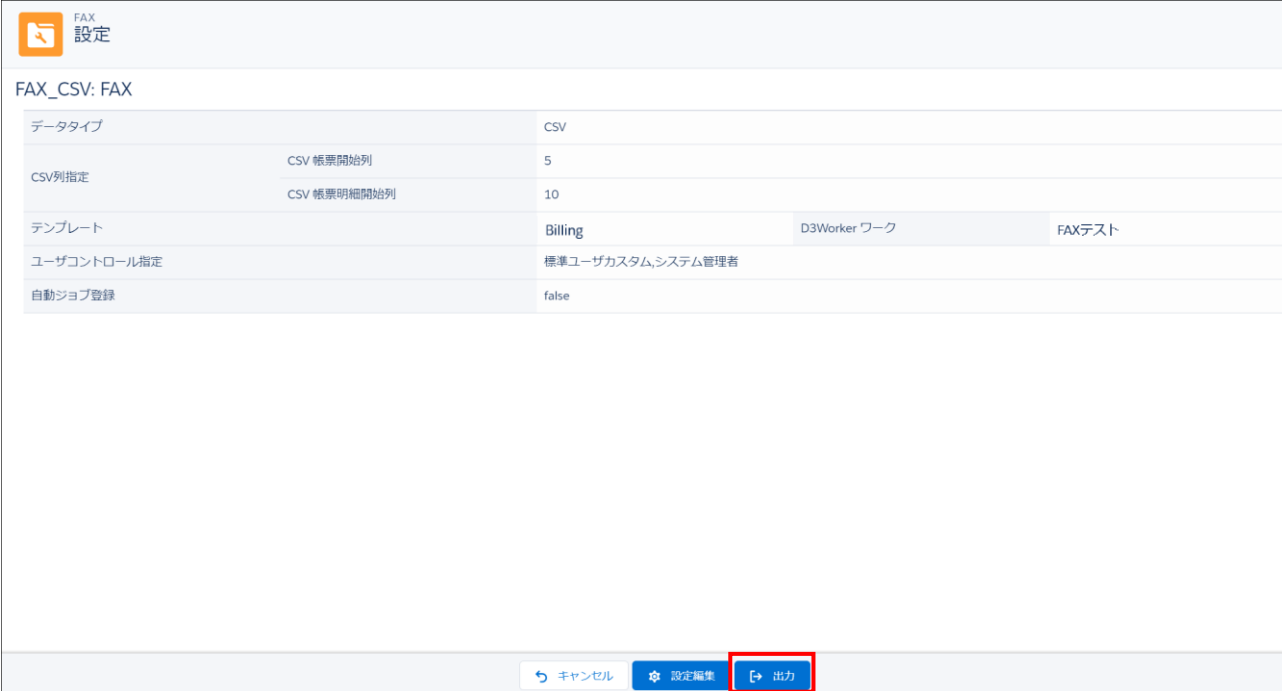
ワーク (D3Worker) 指定: FAXテスト

ユーザコントロール指定: システム管理者

キャンセル 保存

## 3.2 自動ジョブ登録

FAX レコードの詳細画面で[出力]をクリックします。



FAX 設定

FAX\_CSV: FAX

データタイプ		CSV	
CSV列指定	CSV 帳票開始列	5	
	CSV 帳票明細開始列	10	
テンプレート	Billing	D3Worker ワーク	FAXテスト
ユーザコントロール指定	標準ユーザカスタム,システム管理者		
自動ジョブ登録	false		

キャンセル 設定編集 出力

ジョブを自動で登録するか、手動で登録するかを選択します。

※自動ジョブ登録は、システム連携向けの機能です。



FAX 出力

FAX\_CSV: FAX

自動ジョブ登録

無効  
 有効

有効にすると、このレコードの添付ファイルへのCSVファイル登録時に自動的にジョブが登録されます。

### 3.2.1 「有効」を選択した場合

[保存]をクリックします。

The screenshot shows a web interface for FAX CSV output. At the top left, there is a logo with 'FAX 出力' (FAX Output). Below it, the title 'FAX\_CSV: FAX' is displayed. The interface is divided into two main sections: '自動ジョブ登録' (Automatic Job Registration) on the left and '手動ジョブ登録' (Manual Job Registration) on the right. In the '自動ジョブ登録' section, there are two radio buttons: '無効' (Invalid) and '有効' (Valid). The '有効' option is selected. Below the radio buttons, a note states: '有効にすると、このレコードの添付ファイルへのCSVファイル登録時に自動的にジョブが登録されます。' (When valid, the job is automatically registered when the CSV file is registered to the attached file of this record). The '手動ジョブ登録' section contains a large light blue box with the text: 'ここにCSVファイルをドラッグアンドドロップしてください。' (Please drag and drop the CSV file here). Below this box, a note says: 'ボタンをクリックすると処理が開始され、ポップアップウィンドウで処理の状況が表示されます。処理が完了するまでウィンドウは閉じないでください。' (When you click the button, processing starts, and the status is displayed in a pop-up window. Do not close the window until processing is complete). A button labeled '[+] 出力' (Output) is located below the note. At the bottom of the interface, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save). The '保存' button is highlighted with a red box.

FAX レコードの添付ファイルとして CSV ファイルがアップロードされたタイミングで、自動的にジョブが登録されます。

**注意** 本機能を使用する場合は、追加で以下のカスタムオブジェクト権限が必要です。

- FAX 履歴: 参照・作成・編集

### 3.2.2 「無効」を選択した場合

「手動ジョブ登録」に CSV ファイルをドラッグ&ドロップして、[出力]ボタンをクリックします。ボタンをクリックすると処理が開始します。



※指定できる CSV ファイルは 1 つです。

※ポップアップウィンドウで処理の状況が表示されます。処理が完了するまでウィンドウは閉じないでください。

# 4. FAX 履歴

FAX 履歴の使用方法について説明します。

## 4.1 FAX 履歴レコード

[FAX 履歴]タブでは実行した FAX の履歴を確認することができます。

手動もしくは Apex Scheduler にて FAX 送信依頼を行った 1 FAX 送信単位で履歴レコードが生成されます。

受付ID	ジョブID	作成日	最終更新日	FAX 件名	FAX 送信先情報 (...)	FAX 名	ステータス
T2000000000371	T2000000000556	2021/03/03 14:39	2021/03/03 14:46				送信完了
T2000000000370	T2000000000555	2021/03/03 14:38	2021/03/03 14:46				送信完了
T2000000000369	T2000000000554	2021/03/03 14:23	2021/03/03 14:31				送信完了
T2000000000368	T2000000000553	2021/03/03 14:21	2021/03/03 14:31				送信完了

FAX 履歴レコードの項目は以下です。

- 受付 ID : FAX 送信依頼を受け付けた単位で、発番されます。
- ジョブ ID : FAX 送信単位で発番されます。
- ステータス : 現在の FAX 送信状況を表します。@tovas と @Tovas for Salesforce の中間サーバから 1 時間当たり 12 回のステータス更新アクションが取られ、本項目の値は更新されます。  
※ 一定の日数よりも前の FAX 履歴についてはステータス更新の対象から外れます。
- その他 : FAX 送信に関連する情報が格納されます。

**Point** 指定した条件に当てはまる履歴の検索も可能です。

**Point** ステータスでは、現在の FAX 状況を確認することができ、以下の値を取ります。

- 文書作成中
- 送信中
- 送信完了



- 
- 送信失敗
  - 文書作成エラー
  - 送信エラー
  - データエラー

以下のステータスのとき、「ダウンロード」アクションが可能になります。

- 送信中
- 送信完了
- 送信失敗
- 送信エラー

以下のステータスのとき、「再送」アクションが可能になります。

- 送信完了
  - 送信失敗
  - 送信エラー
-

## 4.2 @Tovas 履歴レコード

FAX 履歴レコードの子レコードとして、@Tovas 履歴レコードが作成されます。

@Tovas 履歴レコードによって、D3Worker 経由で実行された@Tovas の処理履歴を確認できます。

1. FAX 履歴レコードの詳細画面を開きます。

受付ID	ジョブID	作成日	最終更新日
T2000000000371	T2000000000556	2021/03/03 14:39	2021/03/03 14:46
T2000000000370	T2000000000555	2021/03/03 14:38	2021/03/03 14:46

2. 「関連」タブへ移動します。

FAX履歴  
a132w000000IsLY

関連 詳細

受付ID: T2000000000371  
ジョブID: T2000000000556  
ステータス: 送信完了  
FAX: [FAXテスト\\_Salesforce](#)  
FAX名: FAXテスト\_Salesforce

3. 「@Tovas 履歴」の関連リストに表示されている、@Tovas 履歴レコードのリンクをクリックします。

FAX履歴  
a132w000000IsLY

関連 詳細

FAX送信履歴 (再送) (0) 新規

@Tovas履歴 (1) 新規

@Tovas履歴名  
20210303-V2-188519-BIZ-002800849

すべて表示

4. @Tovas 履歴レコードの詳細画面が開きます。

@Tovas履歴  
20210303-V2-188519-BIZ-002800849

編集 削除 コピー

関連 詳細

FAX履歴  
a132w000000IsLY

所有者  
製品検証用 開発者

ファイル配信履歴

@Tovas ID  
20210303-V2-188519-BIZ-002800849

処理された数  
1

総処理数  
1

ステータス  
COMPLETED

失敗理由

配送日時  
2021/03/03 14:41

配送開始日時  
2021/03/03 14:39

配送更新日時  
2021/03/03 14:44

@Tovas履歴名  
20210303-V2-188519-BIZ-002800849

▼ D3Worker

# 5. バックグラウンド処理

バックグラウンド処理設定について説明します。

## 5.1 スケジューラ登録

[バックグラウンド処理]タブにて「登録」ボタンをクリックすることで、バックグラウンド処理履歴に表示されるステータス値の更新がされるようになります。

この作業を行わないとステータス更新がされず、バックグラウンド処理が実行されません。

バックグラウンド処理

スケジューラ登録

ステータス更新 未登録 **登録**

- 1時間毎に実行されるタスクが12個登録されます。個数はカスタム設定で変更できます。変更後12個です。時刻の指定はできません)
- タスクはここで登録操作をおこなったユーザの権限で実行されます。「郵送/FAX/ファイル配信オブジェクト」の作成・削除の権限が必要です。

バックグラウンド処理履歴

開始時刻	種別	ステータス
------	----	-------

### 注意

この操作は

FAX 履歴オブジェクトの参照・更新権限

OPROARTS ユーザオブジェクトへの参照権限

を持ったユーザで行います。

この操作を行うユーザへパッケージ「@Tovas for Salesforce」のパッケージライセンスが付与されていることも必要です。


「登録」を押したタイミングでそのユーザに権限があればよいのではなく、その後 FAX 履歴のステータス更新が行われる毎タイミングで常に権限が付与されていないことに注意してください。

## 5.2 バックグラウンド処理履歴

バックグラウンドで行われる処理

- 自動ジョブ登録
- ステータス更新

を確認するための機能です。

 バックグラウンド処理

### スケジューラ登録

ステータス更新      登録済み      [解除](#)

- 1時間毎に実行されるタスクが5個登録されます。個数はカスタム設定で変更できます。変更後は登録操作をやり直してください（最小5個、最大12個です。時刻の指定はできません）
- タスクはここで登録操作をおこなったユーザの権限で実行されます。郵送履歴オブジェクトの参照・更新の権限が必要です。

### バックグラウンド処理履歴

開始時刻:       種別:  ステータス  ジョブ(SF)  ジョブ(CSV)  内部      ステータス:  処理中  正常終了  異常終了      [検索](#)

開始時刻	終了時刻	処理時間(ミリ秒)	種別	ステータス	メッセージ
2020/09/04 16:18	2020/09/04 16:18	115	ジョブ(SF)	正常終了	Started / 08e2w000009Q5WcA
2020/09/04 16:18	2020/09/04 16:18	1489	内部	異常終了	Started / OPROARTS Prime Link
2020/09/04 16:12	2020/09/04 16:12	131	ステータス	正常終了	Started / 08e2w000009QcQSA
2020/09/04 16:12	2020/09/04 16:12	2074	内部	異常終了	Started / OPROARTS Prime Link
2020/09/04 16:08	2020/09/04 16:08	134	ジョブ(SF)	正常終了	Started / 08e2w000009Q5Wbj

**注意** 検索結果に希望する処理の結果レコードが表示されない場合は、ジョブの登録操作が行われているかご確認ください。

**注意** 希望する処理の結果レコードのステータスが「異常終了」の場合は、サポートサイトに該当のレコードの以下の情報をお知らせください。

- 開始時刻
- 終了時刻
- 処理時間(ミリ秒)
- 種別
- ステータス
- メッセージ

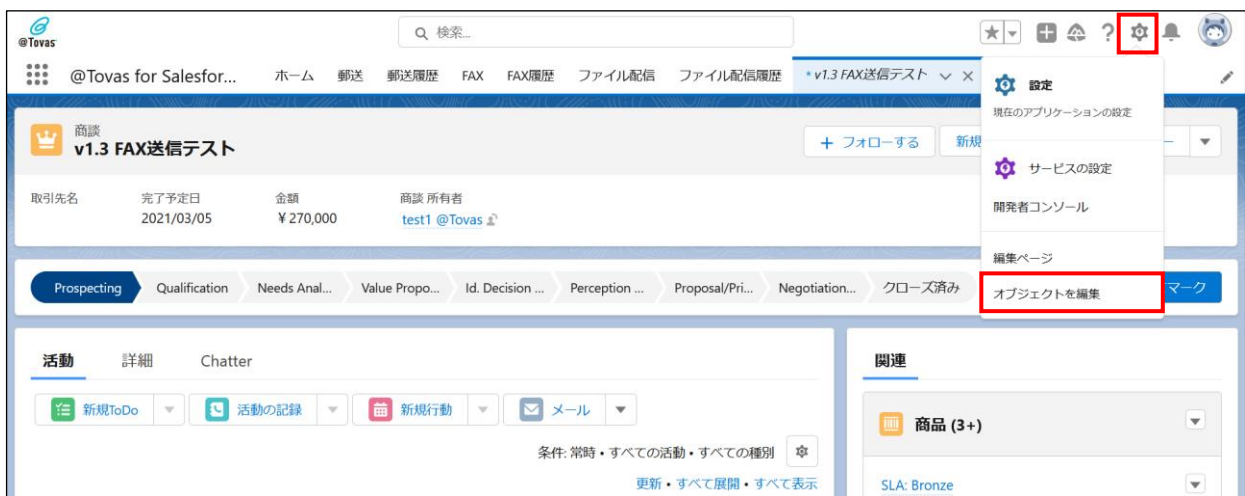
# 6. パッケージのアンインストール

拡張パッケージ「@Tovas for Salesforce」のアンインストール手順について説明します。

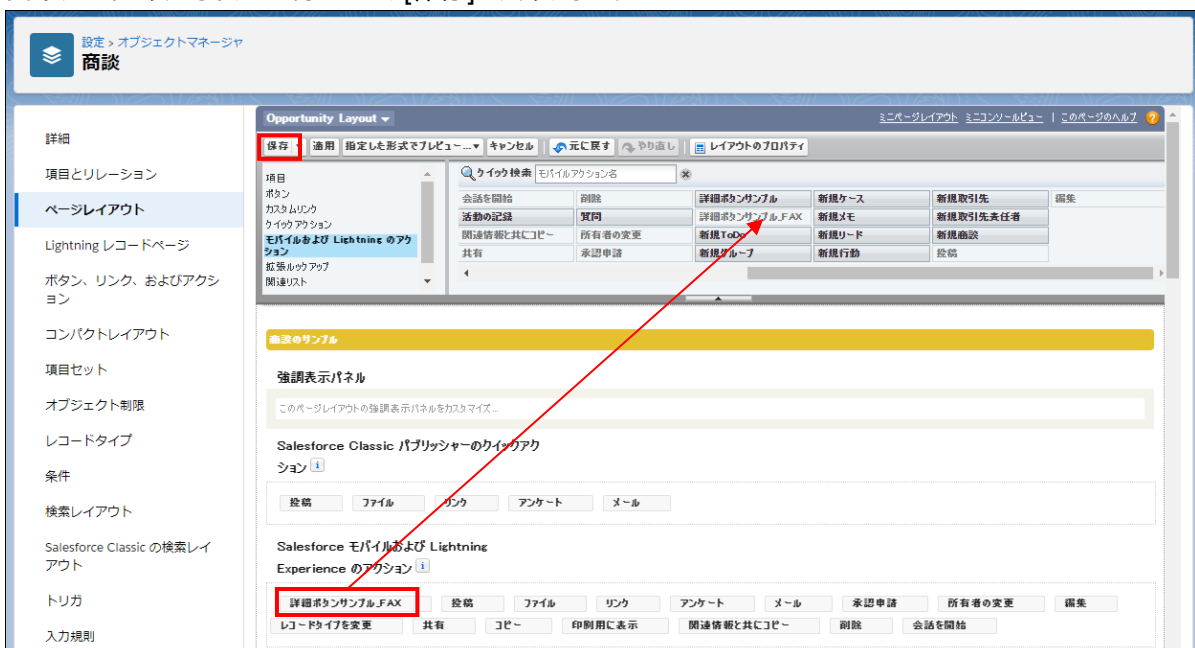
## 6.1 アンインストールの事前準備

Salesforce のデータ連携用に作成したボタンを削除します。手順は以下です。

1. 該当のオブジェクト>設定>「オブジェクトを編集」をクリックします。



2. 「ページレイアウト」設定より、作成した出力ボタンを外します。  
ドラッグ&ドロップでボタンを除いたら、[保存]をクリックします。



3. 「ボタン、リンク、およびアクション」設定より、作成したボタンを削除します。

設定 > オブジェクトマネージャ  
商談

ボタン、リンク、およびアクション  
28 件の項目 (表示ラベル順)

項目とリレーション	リスト	List	標準ページ
ページレイアウト	リストボタンサンプル	list_button_sample	マニュアル・Salesforce 連携用 リストボタン URL
Lightning レコードページ	リストボタンサンプル_FAX	list_button_sample_fax	マニュアル・Salesforce 連携用 リストボタン URL
コンパクトレイアウト	会話を開始	StartOutboundConversation	標準ページ
項目セット	削除	Delete	標準ページ
オブジェクト制限	参照	View	標準ページ
レコードタイプ	高談タブ	Tab	標準ページ
条件	新規	New	標準ページ
検索レイアウト	編集	Edit	標準ページ
Salesforce Classic の検索レイアウト	詳細ボタンサンプル	detail_button_sample	マニュアル・Salesforce 連携用 詳細ページボタン URL
トリガ	詳細ボタンサンプル_FAX	detail_button_sample_fax	マニュアル・Salesforce 連携用 詳細ページボタン URL

アクションメニュー: 編集, 削除

4. 作成した Visualforce ページを削除します。

設定 > Visualforce ページ

Visualforce ページ

Visualforce ページで、好みのユーザーエクスペリエンスのアプリケーションを作成したり、ユーザーの生産性を最適化できるよう既存アプリケーションを拡張したりすることを簡単に実現できます。

ビュー: [すべて] 新規ビューの作成

アクション	表示ラベル	名前	名前空間/レフィックス	API パージョン	説明	作成者(別名)	作成日
編集   削除   セキュリティ	FAXButton_list_button_sample_fax_Page	FAXButton_list_button_sample_fax_Page		40.0	Created by DocuTize Postinc.	開発者	2021/03/17 14:25
編集   削除   セキュリティ	FAXButton_detail_button_sample_fax_Page	FAXButton_detail_button_sample_fax_Page		40.0	Created by DocuTize Postinc.	開発者	2021/03/17 13:42

## 6.2 アンインストールの手順

1. 設定画面のクイック検索欄に「インストール済み」と入力し、[インストール済みパッケージ]をクリックします。  
@Tovas for Salesforceの「アンインストール」をクリックします。



2. パッケージのアンインストール画面で「はい。このパッケージをアンインストールして、すべての関連コンポーネントを永久に削除します」にチェックを入れ、[アンインストール]ボタンをクリックします。  
削除完了後にメールが届きます。







@Tovas for Salesforce

ユーザーガイド

(FAX)

発行元 株式会社オプロ

